

緊急レポート

サラリーマンが**小遣い**を貯めて 引退生活に入れる唯一の方法

～子供にこれだけは教えたい
「最低限」のお金の知識

秦 泰晴

はじめに～Mr. Xの「引退する方法」を諦めないで下さい

あなたは Mr. X の「引退する方法」を読まれたことと思います。Mr. X の「引退する方法」を読んで、あなたが既に引退しているか、引退を目指した軌道に乗っているのであればこのレポートはお役に立てません。

ただ、Mr. X の引退する方法は庶民には実践が難しいのです。

いえ、少なくとも私自身にとっては実践が難しかったのです。

ですから、実践できる引退の方法がないか？と試行錯誤して実践した結果がここで紹介する方法です。

ですからここで紹介する方法は Mr. X の「引退する方法」の庶民バージョンだと思っています。

Mr. X の「引退する方法」は、次のステップから成り立っています。

- ステップ 1 : 排除
- ステップ 2 : 想像
- ステップ 3 : 進化
- ステップ 4 : 守り

これを私なりにまとめると次のようになります。

- (1) 無駄な出費を排除して、最低限の生活を見極める。**
- (2) 資産はインデックスファンドで所有する。**
- (3) インデックスファンドの価値の増加分だけを取り崩して生活費に充てる。**

(そうするとインデックスファンドの資産額は常に減らず、いわば元本に手をつけず金利だけで食っていける状態になるので引退生活に入れる)

ですが、あなたは実践しようとして次のような壁にぶつかったかも知れません。

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

私自身の経験では、次の3つが壁になっていました。

- 1. インデックスファンドが分からない**
- 2. 全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がない**
- 3. 家族の理解が得られない**

順に見ていきます。

1. インデックスファンドが分からない

インデックスファンドと言ってもそれが何か分からないかも知れません。

実際に私も調べてみましたが、たくさん種類があって何を選んだらよいか分からないのでした。

またインデックスファンドは、株式投資の一種ですから、証券会社の口座を開設する必要があります。

この手続きが面倒で、よく分からないかも知れません。

私は**日本の証券会社を選んで、インターネットで自分でインデックスファンドを購入するやり方を行いました。**

これは、一旦米ドルを購入して、米ドル残高の範囲内でインデックスファンドを購入するというやり方になります。

初めての時にはややこしかったので、詳しくお話したいと思います。

2. 全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がない

実は、この点が、最大の難関だと思います。

それは実際にインデックスファンドを購入して初めて実感できると思います。

インデックスファンドは株の一種です。

株？上がったたり下がったりするんじゃないの？

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

きっと不安になると思います。

もしあなたが住宅を購入する頭金を5年間かけてやっと5百万円貯めていたとします。

「よし、この5百万円でインデックスファンドを買うぞ」

つまり

「なんだかよく分からないけどインデックスファンドという株に投資するぞ」

と思えるでしょうか？

いえ、まだ住宅資金として貯めていた現金を投資するのは難しくない方です。

**既に家やマンションを購入した後なのに、「この家（マンション）を売ってインデックスファンドに替えるぞ。」
と思うのは非常に難しいですね。**

こういう決断ができるからこそ、Mr. Xは富豪になり、若くして引退できたのだと思います。

でもこの決断は庶民には難しすぎる・・・

（私にはできなかった）

このレポートでは、「じゃあどうしたらいいの？」についてお話していきます。

「緊急」である理由

このレポートは緊急レポートです。

今すぐ読んで頂きたいのです。

なぜ緊急で、今すぐ読んで頂きたいのか？

ちょっと計算して頂ければ分かると思いますが、サラリーマンが毎月3万円の小遣いを貯金したとして、1年間で36万円

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

です。

10年で360万円。

20年貯めたとしても720万円。

小遣いを貯めるという行為が、少しも引退と結びつかないと思われるかも知れません。

でも、「時間」を味方に付けることで、実際に引退が見えてきます。

このことは詳しくお話しますが、「時間」が全てですので、あなたが今、何歳であっても今すぐこのレポートを読み進めて下さい。

それともう一つ。

このレポートで紹介する方法は、あなたが資産家であったり、毎月の収入に余裕がある場合にはさらに有効な方法です。

「余裕資金を活用して引退を加速的に実現する方法」として読み進めてください。

サラリーマンが**小遣い**を貯めて引退生活に入れる

唯一の方法 目次

1. 「小遣いを貯めて引退する方法」の目標	・・・7
セクション1 付録「引退生活の想像」	・・・11
2. なぜインテックスファンドで引退できるのか？	・・・12
(1) 何故 Mr. X はインテックスファンドを薦めるのか	・・・15
(2) インテックスファンドとは何か？なぜインテックスファンドでは資産価値が増えるのか？	・・・19
(3) インテックスファンドを実際に購入する手続き	・・・28
(4) インテックスファンドの選び方	・・・38
第2章の付録	・・・41
3. 「どうしても家が欲しいのよ！」 家を持つのは1759万円も損をする	・・・43
【付録】エクセルで複利計算をする方法	・・・46
4. 「全ての資産をインテックスファンドに変える勇気がない」ありません	・・・48
5. 残された唯一の方法	・・・58
6. 最後の方法：アクティブ運用の投資信託	・・・66
7. このレポートの完成形を届けさせてください。	・・・71
終わりに	・・・75

1. 「小遣いを貯めて引退する方法」の目標

このレポートは、Mr. Xのように

ステップ1：排除（無駄な出費を排除して）

ステップ2：想像（引退生活を想像して）

ステップ3：進化（稼ぐ能力を向上させて）

ステップ4：守り（資産をインデックスファンドで所有する）

ことで引退生活に入れたい人(私自身)のために書きました。

「消費を切り詰められません。」

実は、我が家では住居を購入することになりました。

おそらく引退から最も遠ざかる行為だと思います。

ですが、女房のわがままには勝てませんでした。

（私は恐妻家なので）

私自身、住居を購入するのは賃借と比べて金銭的なメリットは一つもないと思います。

もしあなたが「住宅を買おうかな」と迷っているならば、思いとどまることをお勧めします。

購入と賃借の比較を別の章で詳しく整理したので読んで見てください。

この比較は、奥さんの説得にも使えると思いますので、どうぞ活用してください。

「借金だけはするな」は無理です・・・

「借金だけはするな」Mr. Xが何度も何度も言っている言葉です。

住宅をキャッシュで購入するのは無理なので、私は借金することになりました。

でも、住宅を購入しても借金をしてしまったとしても引退が実現できるであろう、という方法を実践しています。

「家族の理解が得られません。」

全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がないし、
家族の理解が得られません。

そうですね。

奥さんが「インデックスファンドって何よ。株の投資？今まで真面目に働いてきて、どうしてそんな博打みたいなことをするの？納得いかないわよ。」と言われたとしても無理はありません。

「株？上がったか下がったかするんじゃないの？」

当然の拒否反応です。

むしろ「長期的に考えたらやっぱり全ての資産をインデックスファンドにしておこうね」という奥さんがいたら怖いぐらいです。

奥さんが反対しても大丈夫な方法をお話します。

「進化もしません。(稼ぐ能力も上げられません)」

はい、この点も大丈夫です。

私はサラリーマンです。

私自身、ビジネスを副業で立ち上げたこともありますが、中途半端にしかできないので現在は行っていません。

副業にしろ、本業にしろ、**稼ぎを増やすのは難しい**と思います。

ですからこのレポートでは、**稼ぎを増やすこと（スキルアップ）は全く考えない**ことにしました。

現在の収入のまま生活を続けて行きます。

稼ぎそのものは増やさずに、消費と資産運用を見直、最悪は小遣いを貯めるだけで引退に進んでいけるようにします。

具体的に決めましょう。

Mr. X はインデックスファンドの残高の 0.3%を毎月現金に替えて生活費に充てると言っています。

これは年利で言えば約 4%の計算になります。

あなたがどの位の金額があれば引退生活に入れるかは、あなたの生活習慣や価値観次第です。

ただこのレポートの中では目標を次のように決めます。

資産額：4,000 万円

これだけの資産を築けば、インデックスファンドで約 4%の運用をした場合に、年収は 160 万円になります。

月収は 13 万円です。

最低限の生活はできる金額だと思います。

実はこれは私自身の目標額でもあります。

それと、このレポートのやり方（小遣いを貯めて引退）も資産額 4,000 万円に達した時点で、インデックスファンドに切り替えて引退生活に入るという点は同じです。

ですから、**家など普通の人と同じような消費をした上で、資産 4,000 万を築き、引退生活に入る方法**をお話していきます。

セクション1のまとめ

引退生活に入るための目標額を決めましょう。

このレポートでは資産額：4,000 万円

これだけの資産を築けば、インデックスファンドで約 4%の運用をし、年収は 160 万円になります。

月収は 13 万円です。を目標にして話を進めて行きます。

セクション1 付録「引退生活の想像」

私自身が引退生活を想像した時に、子供の教育のことを考えました。

引退して働く必要がなくなったら、住む場所は物価の安い地方を考えるとします。

また、そもそも日本に住む必要もありませんから海外の物価の安い町でいいわけですよ。

引退後にインデックスファンドからの月収は13万円です。

地方だと家賃が5万円もあれば一家4人が住める家が借りられます。

残りの8万円で最低限の生活はできるでしょうし、もう少し収入があった方がよいならば、パートしてもいいでしょう。

ただ、「**子供が18歳になって大学に通うことになったら、下宿はどうするの？**」という問題があることに気がきました。

仕送りするならインデックスファンドからの月収13万円では足りない・・・？

実は、対応は可能です。

一家そろって子供の大学の近くに引っ越して家を借りればいいのですね。

私達は「稼がなくてはいけない」「稼ぐために働かなくてはいけない」と思っています。

そして、働くために「この町に住まなくてはならない」と思って人生が決められてしまっています。

職業と生活する場所の縛り（義務）から開放された引退生活では、インデックスファンドからの月収13万円でかなり十分な生活が可能になってきます。

北海道や沖縄に移住を検討される方がいらっしゃいます。

「移住先ではあまり物価が高くないだろうし、現金収入は10万円位あったらいいかな。」と言われることが多いようです。

ただ、ここで移住のために必要な資金の計算を次のようにすると移住はなかなか実現できません。

- ・ 毎月の生活費 10 万円×25 年間=3,000 万円
- ・ 住居 2,000 万円

「生活費と住居の合計で 5,000 万円も必要なのか。う～ん、難しいなあ。」

でも、実際は住居を所有せずに賃借すると、インデックスファンドからの月収 13 万円で向こう 25 年間と言わず、30 年でもそれ以上でも十分な生活が可能になってきます。

本当は最低限の生活を見極めることで、「稼がなくてはいけない」、「稼ぐために働かなくてはいけない」、「働くためにこの町に住まなくてはならない」といった義務から解放されて、引退が見えてくるのですね。

(Mr. X の「**ステップ1**：排除」の復習でした。)

2. なぜインデックスファンドで引退できる

のか？

この章では、**何故 Mr. X はインデックスファンドを薦めるのか？インデックスファンドの具体的な購入の仕方**についてお話していきます。

ただ、「インデックスファンドとは何か」のところは、少し専門的な説明になっています。

難しいと思ったらその部分は読み飛ばして、「この章のまとめ」に進むか、面倒だと感じる方は、とにかく実際にインデックスファンドを購入することをお勧めします。

(試しに購入するのは5～6千円程度で可能です。)

実際にインデックスファンドを購入してみることが理解に繋がりますし、5～6千円程度の出費が必要とは言ってもそれを売れば(手数料はかかりますが)お金は戻ってきますので、「理論より実践」という方は、(2)をスキップして下さい。

この章では次の順番でお話していきます。

- (1) **何故 Mr. X はインデックスファンドを薦めるのか**
- (2) **インデックスファンドとは何か？なぜインデックスファンドでは資産価値が増えるのか？**
- (3) **インデックスファンドを実際に購入する手続き**
- (4) **インデックスファンドの選び方**

ここでは少し専門的な話もします。

理論の全てを分かって頂くのは大変かも知れないので、実践(すぐにごすること)への直結度を星印でランキングします。
(☆☆☆) ⇒ (★★☆) ⇒ (★★★) の順に実践への直結度が高くなっています。

実は私は、金融や投資の専門家ではありませんが、勤務する会社が上場企業で、その中で投資家向けの広報という少し特

殊な仕事をしています。

具体的に言えば、機関投資家からの取材に対応して、会社の業績や会社の戦略について説明するという仕事です。

「機関投資家」というと馴染みがないかも知れませんが、具体的には次のような会社になります。

Fidelity Management & Research Company

Lazard Asset Management

Wellington Management Company, LLP

New Jersey Division of Investments

TIAA-CREF Investment Management, LLC

Grantham Mayo, Van Otterloo & Co. (GMO)

Artio Global Management LLC

GE Asset Management, Inc.

Capital Group International, Inc.

Brandes Investment Partners, L.P.

Martin Currie Investment Management Ltd

Scottish Widows Investment Partnership, LTD

Marathon Asset Management, LLP

Norges Bank Investment Management (U.K.)

BlackRock Investment Management (UK) Ltd. (ex. Merrill Lynch)

Kuwait Investment Office

Morgan Stanley Investment Management Limited

INVESCO Perpetual Investment Management Services, Ltd.

Henderson Global Investors

Delta Lloyd Asset Management N.V.

ING Investment Management Advisors B.V.

Pictet & Cie (Switzerland)

Abu Dhabi Investment Authority (ADIA)

Government of Singapore Investment Corporation Pte Ltd.

三菱UFJ信託銀行株式会社

住友信託銀行株式会社

野村アセットマネジメント株式会社

中央三井アセット信託銀行株式会社

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

みずほ信託銀行株式会社
日興アセットマネジメント株式会社
DIAM アセットマネジメント株式会社
さわかみ投信株式会社

私はこの会社の仕事を通じて、投資の基本的な知識、投資家の考え方、日本経済に対する見方などを学んできました。

例えば「株に投資する」と言った時、**一般の人はトヨタ自動車とか、コマツとかキャノンとか特定の会社に投資しようと考えていることが多い**と思います。(個別銘柄を買う、というやり方ですね。)

例えば、手元資金が30万円だけあったとします。この資金を使って株価が300円の会社の株1,000株を購入できます。個人の投資家の方は、わずかな資金を個別銘柄に投資することが多いでしょう。

ハッキリ言って、これは**プロの投資家の運用方法とは全くかけはなれています**。

先に結論を言うと、この対極の運用方法がインデックスファンドになります。

ちなみに私自身は決して個別銘柄を買おうとは思いません。

例えば、次のようなことが実際にあります。

会社で「明日〇〇新聞がわが社の記事を発表するらしいが、そうなると株価が上がるだろうな・・・」と思うこともあります。

こういう状態であっても私自身は自分の会社の株を買うことはありません。

それは「インサイダー取引になるから」という理由がありま

すが、もっと別の現実的な理由があるからです。

この「理由」はあなたにも関係していて結構重要なことですので、後で改めてお話しします。

個別銘柄を1点買いすることの対極にあって、プロの投資家が実際に行っている運用の一つがインデックスファンドなのです。

(1)何故 Mr. X はインデックスファンドを薦めるのか(★★☆)

一言で言えば、**インデックスファンドは価値が上がり続ける「資産」**だからです。

ただし、「価値が上がり続ける」には一つだけ条件があります。

「時間を十分にとった場合」という条件が必要です。

ここで実際にインデックスファンドの価値が上がり続けているかどうか確認してみましょう。

Mr. X はインデックスファンドの残高の 0.3%を毎月現金に替えて生活費に充てると言っています。

これは年利で言えば約4%の計算になります。

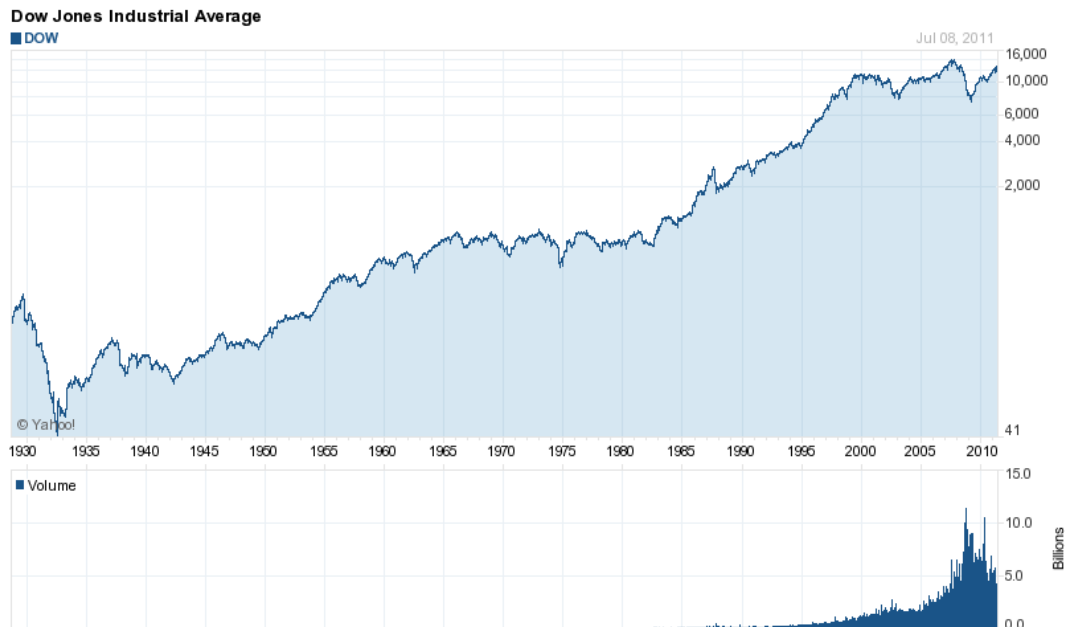
本当に年利4%以上の価値の上昇を続けているのでしょうか？

実は、インデックスファンドにはいろいろ種類があります。

詳しくは次の(2)でお話しますが、代表的なもので見てください。

ダウ工業平均で見えます。

Yahoo.com のファイナンスでは、1928年10月以降のダウ工業平均株価が載っています。(http://finance.yahoo.com)



これで毎年の1月の最初の日の株価をその前年の株価と比較して、1年間での株価の上昇が年利4%以上となっているか、確認します。

過去81年分をみると、
 年利4%以上となっている年（○）⇒47回
 年利4%以上となっていない年（×）⇒35回
 となっています。

例えば、2011年1月3日の株価は11891.93ドルです。
 2010年1月4日の株価は10067.33ドルです
 1,824.6ドル（18.1%）上昇していますから、この1年間の評価は○です。

1年単位で見ると、47勝35敗なので、あまり勝率はよくないかも知れません。

では運用期間を20年間として、その間平均で年利4%以上を達成してきたかを評価してみましょう。

年利4%を20年間続けると、資産は当初の219%に増えます。

例えば、2011年1月3日の株価は11891.93ドルです。

これを20年前の1991年1月2日の株価2736.39ドルと比較します。

9155.54ドル(334.6%)増えています。434.6%に上昇していますから、この20年間の評価は○です。

過去63年間分同様に評価します。

年利4%を20年間続けられた(○)⇒48回

年利4%を20年間続けられなかった(×)⇒15回です。

勝率は76%です。

なお、運用期間を20年間として、その間平均で元本割れを起こしたことがあるかどうか？を確認してみましょう

63年間分同様に評価します。

20年間で元本より資産が増えた(○)⇒61回

20年間で元本より資産が減った(×)⇒2回です。

「20年間で元本より資産が増えた」かどうか、で勝ち負けを判定すると、勝率97%です。

ここで他のインデックスでも調べてみます。

S & P 500 (データは1950年以降)では次のようになっています。

過去41年間分同様に評価します。

年利4%を20年間続けられた(○)⇒33回

年利4%を20年間続けられなかった(×)⇒8回です。

なお、運用期間を20年間として、その間平均で元本割れを起こしたことがあるかどうか？を確認してみましょう

過去41年間分同様に評価します。

20年間で元本より資産が増えた(○)⇒41回

20年間で元本より資産が減った(×)⇒0回です。

勝率は 100%です。

ちなみ 41 年間で最低の結果（1962 年 1 月⇒1982 年 1 月）でも元本の 174.9%になっています。

(2) インデックスファンドとは何か？なぜインデックスファンドでは資産価値が増えるのか？（☆☆☆）

インデックスファンドについては一般的に次のように説明がされています。

「インデックスファンドとは、TOPIX や日経平均株価、アメリカの S&P500 などの平均株価指数（インデックス）と連動して、そのファンドの基準価格が値動きをするような運用成果を目指すファンドのこと。」

「インデックスファンドは、原則として、そのインデックスの構成比率と同じ配分でファンドの構成銘柄を組入れて運用する。日経平均連動型の場合、日経平均を構成する 225 銘柄に同株数ずつ投資し、TOPIX 連動型では、TOPIX に近い値動きをするよう投資銘柄やその株数を決める。」

「例えば日経平均株価に連動するインデックス投信であれば、日経平均株価にほぼ連動した運用成績を上げてくれるのです。つまりインデックス投信に投資するという事は、株式や債券など金融の知識が特にない方でも、深く考えずに淡々と投資する事によって、日経 225（日経平均株価）、TOPIX（東証株価指数）などの市場とほぼ同様の運用成績を上げる事ができるのです。」

ファンドの部分が分かりにくいかも知れませんが補足します。

「ファンドとは『基金』の意味で、多数の人から資金を募り、それで投資などを行う集団投資スキームを指しますが、一般的には投資信託の意味合いで用いられます。

投資信託のように、不特定多数の投資家から資金を集め、それで特定の有価証券などに投資する金融商品は、ほかにもたくさんあります。例えば、貴金属や原油、農産物などの先物市場で運用する「商品ファンド」、不動産に投資する「不動産ファンド」などがそうです。つまり、ファンドとは、非常に

幅広い概念を持っているのですが、一般的には投資信託のことをファンドと称するケースが多いようです。」

う〜ん、どうでしょうか？

分かりますか？

私自身の言葉で説明すると（正確ではないかも知れませんが）次のようになります。

インデックスファンドに投資する事は日経 225（日経平均株価）、TOPIX（東証株価指数）などの「指数」と同じ値動きをする株式のパッケージを購入することです。

日経 225 は日本の上場企業の中から 225 社を選定していて、この 225 社に投資できるようにした株式のパッケージになっています。

ですから、個別銘柄が上がると思えば、（例えばトヨタ自動車の株が上がると思えば）その会社の株を買うように TOPIX（東証株価指数）が上がると思えば、TOPIX（東証株価指数）連動のインデックスファンドを購入すればよい訳です。

では、ここで問題は、**個別銘柄が上がるのは分かるが、TOPIX（東証株価指数）などの指数が上がるということはどういうことか？**

本当に上がるのだろうか？

ということだと思います。

個別銘柄が上がるのはよくお分かりだと思います。

ある企業が決算を発表した。事前に予想されていたより決算の業績がよかった場合などに株価が高騰したりします。

個別銘柄の値動きの一つの例は、東電の原発事故後の動きなど見てもらうと分かります。

もともと 2,300 円位であった株価が、500 円位にまで下がっています。

ここで問題を改めて整理します。

- ・なぜインデックスファンドでは資産価値が増えるのか？
- ・TOPIX（東証株価指数）などの指数が上がるということはど
ういうことか？
- ・本当に上がるのだろうか？

ここは、少し遠回りになりますが、まずは**株式投資がなぜ価値を生むのか？**という話をします。

教科書には次のように書かれています。

「投資の基本（ β リスク）

- ・株式投資が何故富を生むのか。資本主義社会において、時間の経過と共に価値が増大する資産(株式)を保有するから。
- ・効率的な市場において、十分な時間軸の中で、適切なリスク（理論価格と実際の価格のブレ幅）を許容すれば、それに見合ったリスクプレミアム（収益）が得られる。
- ・投資理論上は、時価総額平均で全ての株式を保有する（市場全体を買い付ける）事がもっとも効率的なリターンを生む、即ちリスク単位量当りのリターンが最も良いと考えられている。市場全体を買い付けるようなポートフォリオのリスクを β リスクと呼ぶ。
- ・日本株投資の場合、東証一部の時価総額平均を表す指数である TOPIX を投資基準（ベンチマーク）にポートフォリオを作る。
- ・ベンチマークと同じ動きとなるようにする投資をパッシブ投資と呼び、ベンチマークから極力乖離しないことが良いとされている。」

私の言葉でお話します。

上場企業は株式を公開して、世の中の投資家から広くお金を

集めてビジネスを行っています。

このほかにお金の調達としては、銀行からの借り入れもあります。

銀行からの借り入れに対しては、利子をつけて返済します。

こうして集めたお金を使ってビジネスを展開した結果として利益を上げます。

この利益は会社の価値を上げ、一部は投資してくれた株主に還元することになります。

ここで株主・投資家はこの企業の株価が上がるとい形、または配当金という形でリターンを得ることになります。

(株主・投資家がリターンを受け取るのは株価が上がったタイミングで株を売って利ざやを得るか、株式を保有したまま配当金を得るとい二つの方法があるということです。)

ここで平たく言いますと・・・

株式投資がなぜ価値を生むのか？

「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」です。

なお、ちょっと当たり前のように思われるかも知れませんが、利益は、従業員に対する支払いや支払い利息を差し引いた後のものです。

つまり、**会社は、株主・投資家よりも従業員に対する支払いや銀行に対する利息の支払いを優先させている**のです。

逆に言うと、株主・投資家は、従業員や銀行よりも権利が弱い利害関係者と言えます。ですから銀行利率よりも大きなリターンを期待するのが一般的なのですね。

現在のある企業の株式に投資した場合に1年後のリターンが3%であったとします。

また銀行預金の利率が年率3%だったとします。

あなたはどちらを選びますか？

当然銀行預金ですよ。

こちらは元本が保証されていますから。

ですから**株式投資は銀行預金よりリターンが高くて当然と投資家は期待しますし、それに応えるように企業経営者も利益を上げる責任がある**ということです。

実際にトヨタ自動車を例に、株式市場から資金を調達するコストを調べてみましょう。

$$\begin{aligned} \text{株主資本コスト} &= \text{安全利子率} + \beta \text{ 値} \times \text{株式市場の超過リターン} \\ &= 1.2\% + 0.99 \times 5.0\% \\ &= 6.2\% \end{aligned}$$

銀行からの借入金の場合、金利負担は1%程度のはずですから、株式市場からの資金を調達にはコスト（金利）が発生しているのです。

逆に言えば、投資をする側は、銀行預金よりリスクを負っている分、高いリターンを期待しているのです。

話を戻します。

- ・なぜインデックスファンドでは資産価値が増えるのか？
- ・TOPIX（東証株価指数）などの指数が上がるということはどういうことか？
- ・本当に上がるのだろうか？

⇒

基本的に

株式投資は価値を生むようになっています。

それは「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」です。

でも、1つの会社だけに投資した場合、その企業が利益を上

げて投資家に還元してくれるのでしょうか？

当然リスクはありますね。

では複数の企業に投資したらどうなるのでしょうか？

例えば 10 社に投資したとします。

「例えば、10 社の内、6 社が利益を上げて投資家に還元してくれた、残り 4 社は赤字で配当なしや株価を下げってしまった・・・でも利益を上げた 6 社からのリターンで、トータルではリターンがあった。」

ということがあり得ます。

では、投資する対象の企業を多くすれば多くするほどいいのでしょうか？

多くの企業に対して投資するというのは、どういう意味になるのでしょうか？

日経平均は、225 の株式の平均値です。

ですから日本を代表する 225 の株式に分散投資する、ということになります。

つまり個別銘柄よりもリスクが小さく、投資できる訳です。

実際に日経平均の 225 の銘柄全てを購入したとすると一体いくらかかるのでしょうか。

もし平均が 300 円、最低取引単位が 1000 株だとすると（調べるとデータはあるかも知れませんが、大雑把に話を進めます。）

$300 \text{ 円} \times 1,000 \text{ 株} \times 225 \text{ 社} = 6,750 \text{ 万円}$ になります。

**分散して投資するには莫大な資金が必要になります。
ですからわずかな資金でもこうした分散投資で運用してく**

れる投資信託（インデックスファンドの購入）が有利なので
すね。

インデックス投信に投資するという事は、株式や債券など金融の知識が特にない方でも、深く考えずに淡々と投資する事によって、日経 225（日経平均株価）、TOPIX（東証株価指数）などの市場とほぼ同様の運用成績を上げる事ができますと言えます。

もちろん市場に連動するからといっても、必ず市場が上昇するわけではなく下降する場合がありますので短期間では浮き沈みがあるかもしれませんが、過去のデータから長期的に見れば市場は上昇する可能性が高いので、インデックス投信は短期的な運用ではなく、基本的に長期間運用する事によって効率的な資産運用が可能となるのです。

ここで「市場に連動する」ということが重要で、言い換えると**市場全体に投資している、市場全体を購入している**と言えます。

ここで、日経平均は、日本を代表する 225 の株式の指数ですから、日本経済全体にされる、つまり個別の銘柄に対して投資するというより「**日本全体**」に**投資している**と言えます。

ですから「日本経済の先行きがバラ色ではない」と思えば、日本だけの市場に連動したインデックスファンドの購入を避けて、例えば米国市場だとか新興国市場連動のインデックスファンドを購入することを考える必要がでてきます。

また、市場に連動するからといっても、必ず市場が上昇するわけではなく下降する場合がありますので、短期間では浮き沈みがあるかもしれません。

ただ、個別銘柄ではなく市場全体に十分時間をとって投資を

することで、個別企業の業績の影響のリスクを小さくし、株式投資は価値を生む（それは「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」です。）という本来のメリットを享受できる可能性が高くなっていきます。

分かりやすい例をお話します。

投資とルーレットを比較します。

もし「赤」と賭けたとすると、確率は赤になるか黒になるかの1/2です。

当たった場合の配当は2倍です。

例えば「黒の1番」に賭けたとします。

ルーレットはいくつかの種類があり、ヨーロップタイプですと37の枠がありますので、確率は37分の1。当たった場合の配当は36倍です。

株式で個別銘柄に対する投資は「黒の1番」に賭けるのと同じようなものです。

「1点買い」ですから。

その対極にあるのが最も安全な賭けになります。

それは「**赤と黒両方に賭ける**」です。

そして、**ルーレットでは赤と黒両方に賭ける場合、賭け金以上の額が戻ってくることはありませんが、株式投資では元の投資額以上のリターンが返ってくる可能性が高いのです。**

それは株式投資が価値を生む（それは「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」です。）というもともとの性質があるからです。

これがインデックスファンドの投資になります。

つまり、インデックスファンドへの投資は「赤と黒両方に賭け、賭け金以上のリターンを期待する」投資であると言えます。

(3) インデックスファンドを実際に購入する手続き (★★☆)

ここまで難しい話をしてきました。

じゃあ、実際にどうやったらインデックスファンドを買えるのか？早速行動したい、と思われているかも知れませんが、あと一つ理屈にお付き合い下さい。

インデックスファンドとは

「インデックスファンドとは、TOPIX や日経平均株価、アメリカの S&P500 などの平均株価指数（インデックス）と連動して、そのファンドの基準価格が値動きをするような運用成果を目指すファンドのこと。」

平たく言えば、

インデックスファンドに投資する事は日経 225（日経平均株価）、TOPIX（東証株価指数）などの「指数」と同じ値動きをする株式のパッケージを購入することです。

で、どうやったらインデックスファンド＝株式のパッケージを購入できるのでしょうか？

大きく分けて2つの方法があります。

1つ目は証券会社で投資信託を行うこと。

2つ目は、インデックスファンド（＝株式のパッケージ）が株として販売されているので、これを購入する。

私自身は2つめの方法を行いました。

2つの方法の基本的な「意味」は同じです。

ただ、手数料に差がありますので、若干有利・不利の差はあります。

詳しくはご自身で調べてみて下さい。

インデックスファンド（＝株式のパッケージ）が1つの株と

して販売されているものはETFといます。

「ETF（株価指数連動型上場投資信託）とは、証券取引所に上場され、株式と同様に市場で売買できる投資信託の事で、インデックスファンドと同じように市場（日経平均・TOPIX など）に連動した値動きをしますが、インデックス投信と違い取引時間内ならリアルタイムに随時、売買できる事が大きな特徴です（インデックスファンドは通常1日1回）。」

私は、マネックス証券という証券会社に口座を開設して、ETFの中で、VTという証券を購入しました。

その手順をお話していきます。

ここでETF購入の方法をお話したのは理由があります。

できれば小額でも実際に購入して欲しいからです。

さらに、(手数料のチェックもして頂いた方がいいと思いますが) この方法を使って全財産（最低限の現金を手元に残す以外）をインデックスファンドの購入に充てると Mr. X の方法の実践になります。

でも一度でもETFを購入してみると、「**全財産（最低限の現金を手元に残す以外）をインデックスファンドの購入に充てることが怖い。その勇気がない。**」と思われることと思います。

ここが最大の難関だと思います。

実際に購入して初めて「怖い」ことに気付くと思います。

まず、ここが難関だと実感して頂きたいのです。

実感しなくては、その対応について真剣に考えることができません。

では早速、インデックスファンド（ETF）購入の手順についてお話しします。ここでは、マネックス証券での手続きをお話しします。

①Googleでマネックス証券を検索するか、URLを入力し、マネックス証券サイトを開きます (<http://www.monex.co.jp>)



②マネックス証券のトップページです。



③取引が初めての方は、口座開設・資料請求（無料）を行います。口座開設・資料請求（無料）画面です。



サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

④口座が開設されたら、口座に入金します。

個人口座は三菱UFJ銀行竹橋支店 マネックスショウケン（カ 名義へ振込みを行います。

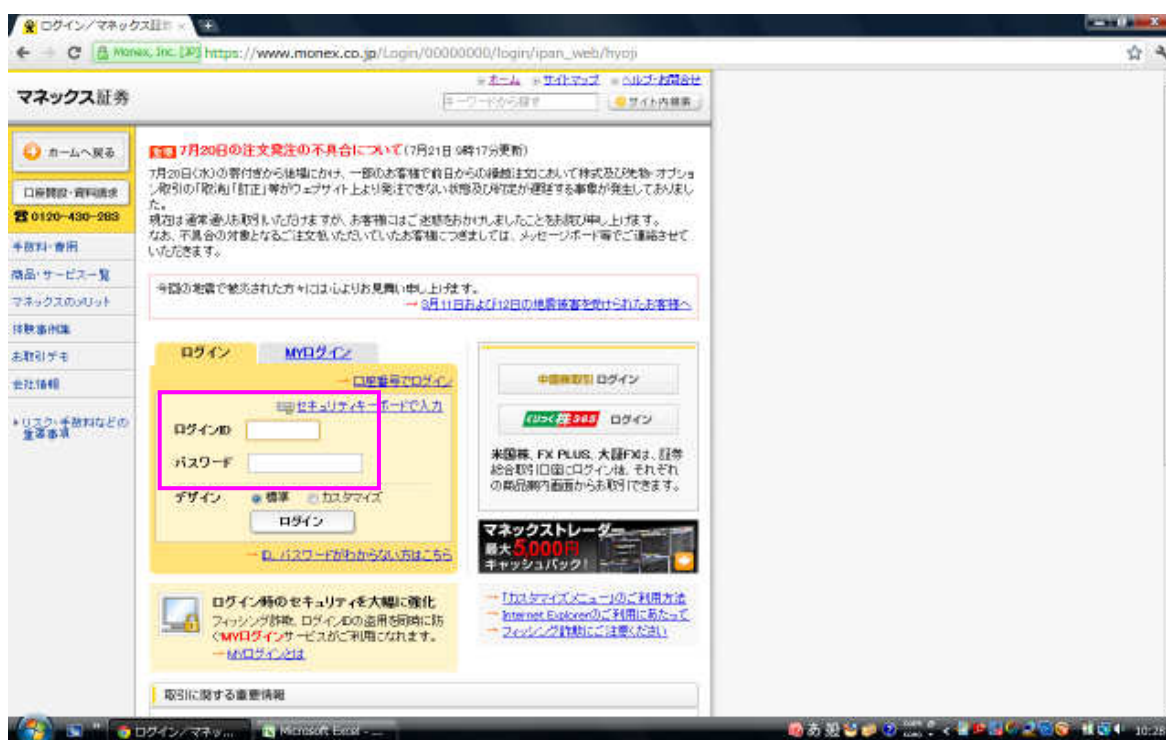
この時点での入金は何円でOKです。

なお、証券会社の口座に入金した後、都合があって返金する場合、手数料無料で返金（銀行口座へ振込み）されます。

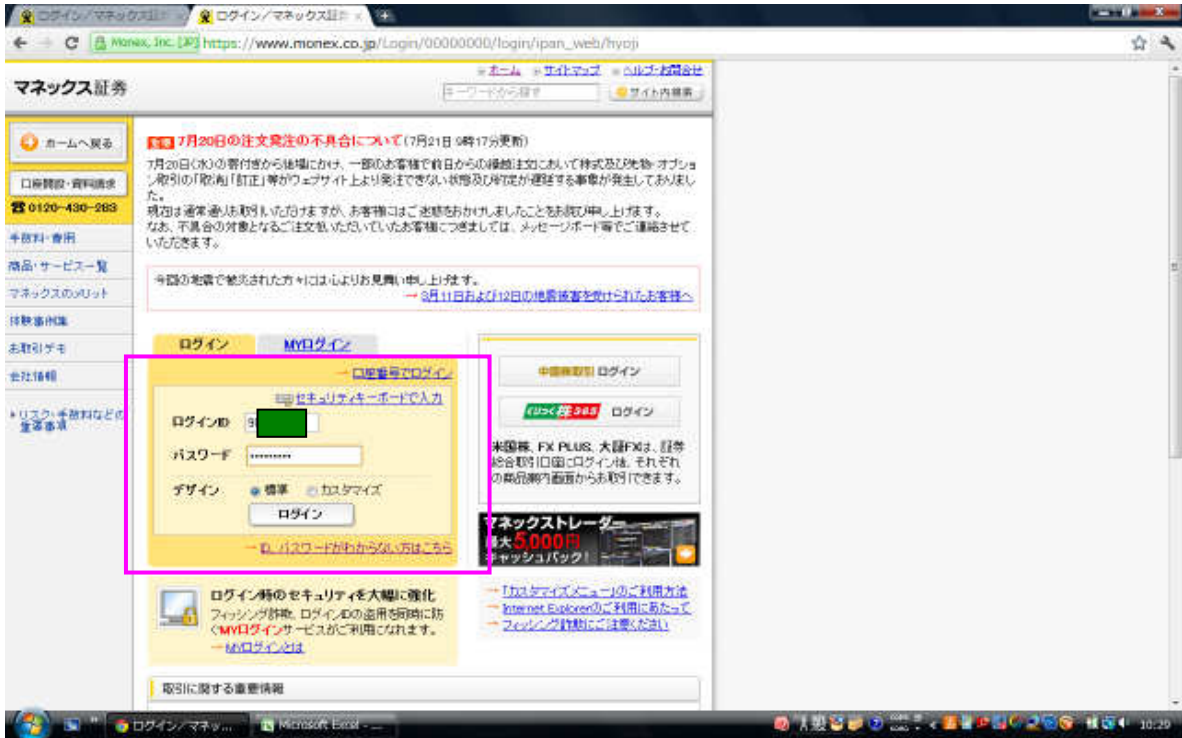
口座へ入金後、サイト内でドルに両替し、ETFを購入する流れになります。

⑤既に口座を持っている方は、ログイン画面に進みます。

口座を持っている方のログイン画面です。



⑥ログインIDとパスワードを入力してログインします。



⑦ 「外国株」のタブをクリックして米国株ページへ移動します。



サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

⑧米国株のトップページです。

最初に入金した円を米ドルに交換します。

「外国為替取引」をクリックします



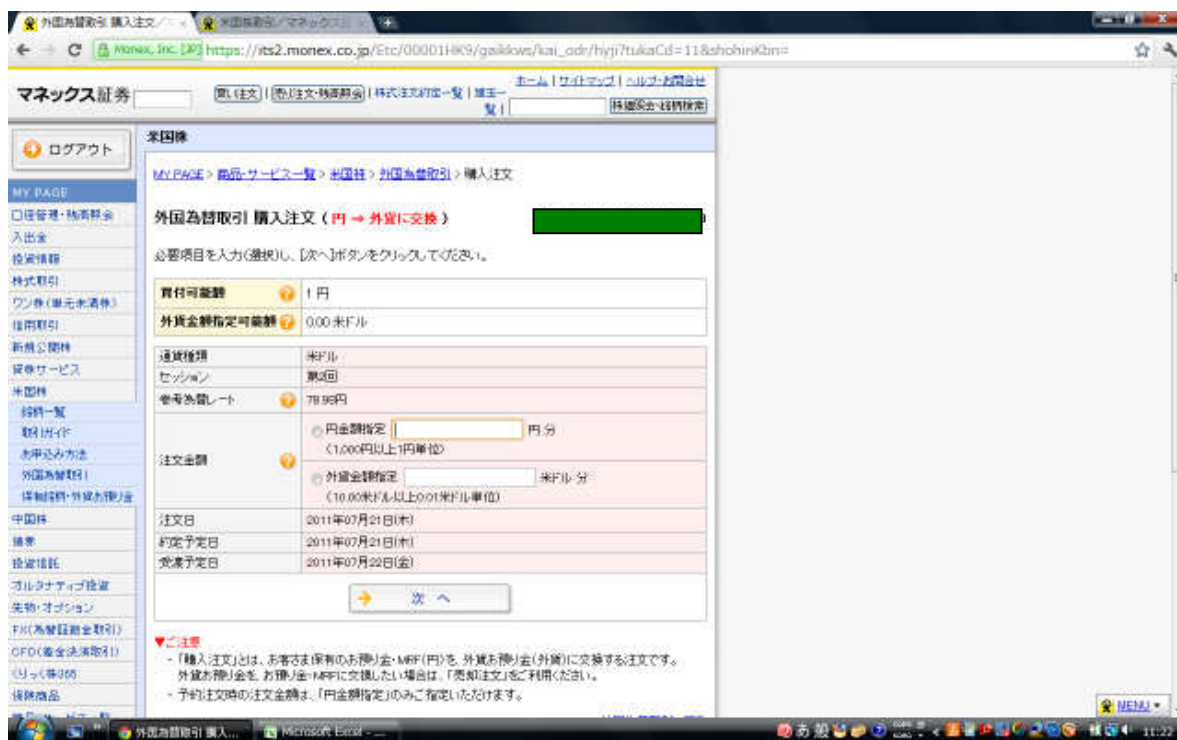
⑨外国為替取引画面です。「買い注文」をクリックします。



サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

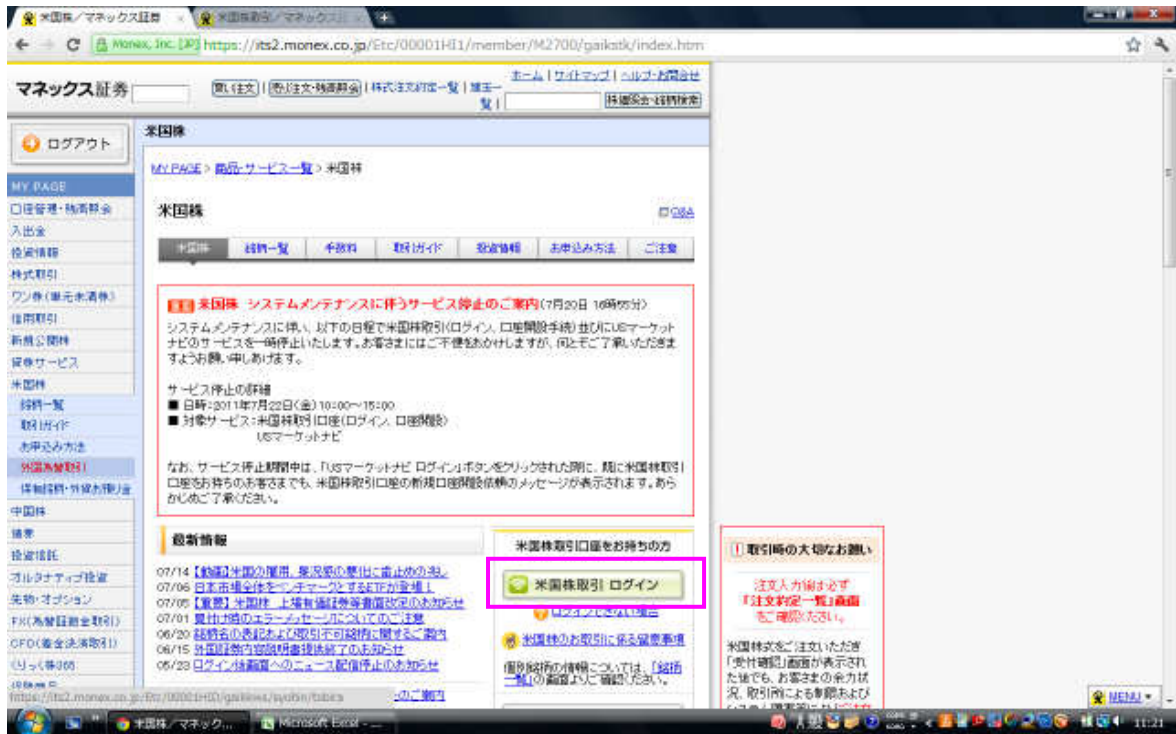
⑩米ドルの注文画面です。金額を指定して購入します。

なお、購入した米ドルは株式購入以外には使えません（例えば海外旅行に行く時に米ドル現金で受け取るなどはできない）ので注意して下さい。



⑪米ドルを購入したら、ETFを購入に進みます。

米国株のトップページからログインします。



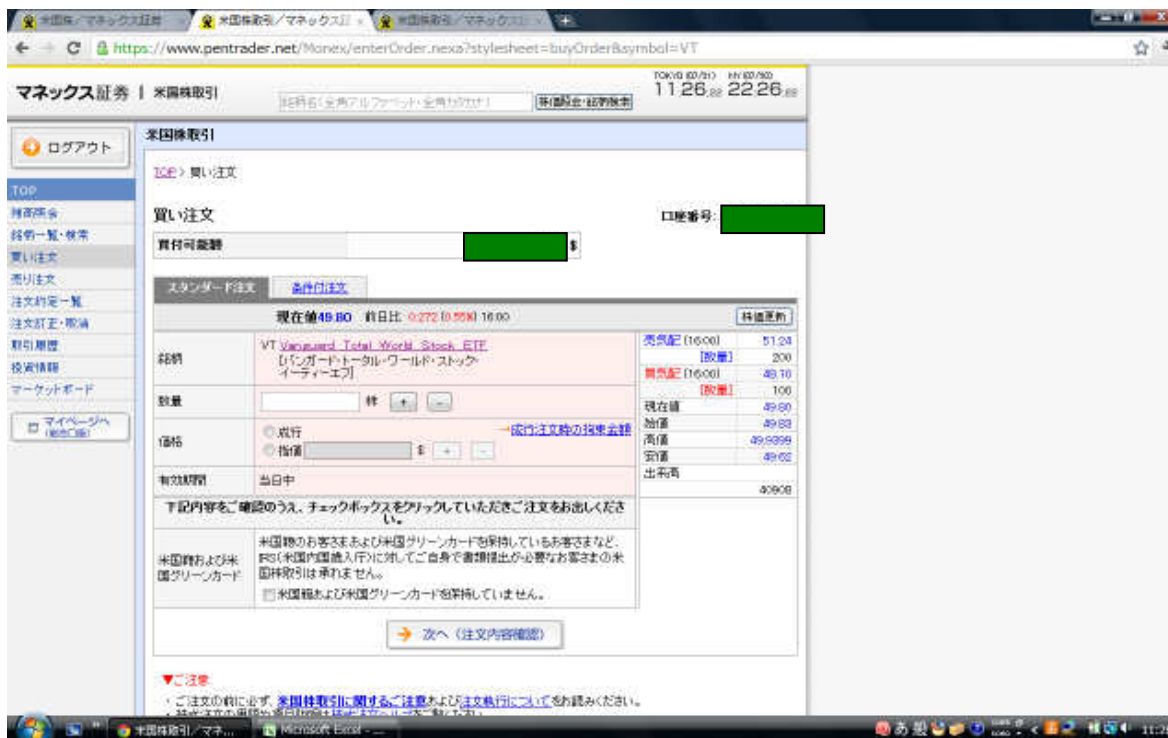
⑫ 「銘柄一覧・検索」をクリックします。



⑬ 「VT」を探し、「買付」をクリックします。



⑭ 買い注文を出します（注：ここでVTを挙げたのは一例です。他の銘柄もあるので次のセクションを参照して下さい。）



(4) インデックスファンドの選び方

(2) でインデックスファンドは市場全体を購入することだとお話ししました。

ここで、インデックスファンドを選ぶ段階になると、何の指標に連動したファンドを選択するか？つまり市場全体と一言でいってもその市場は何にするか？ということが問題になります。

Mr. X は「個人的には Vanguard の S&P500 index fund でも良いと思うのですが、もう少し幅広く分散投資しておきたい場合は世界市場連動のインデックスファンドにしておいて下さい。」と書いています。

S&P500 は米国市場連動のインデックスファンドです。

ですから Mr. X は「米国の市場連動インデックスファンドでもいい」と考えていることになります。

日本市場連動のインデックスファンドではどうでしょうか？

「日経平均」だと 225 の銘柄に分散投資したことになります。ですから日本の代表企業を選出して日本経済全体を買う、ということになります。

個別銘柄の投資と比較して「日経平均」を購入することは、225 の会社の業績が全て会社固有の要因で悪くなる可能性はかなり低くなります。

それが分散投資をしているメリットですが、それは個別銘柄から離れて日本経済全体を買っている、ということになります。

つまり、日本経済全体の景気が悪くなると予想される場合は、

日経平均自体も下がる場合があります。(逆に日本経済全体が上向くと考えられる場合には日経平均が上がります。)

「日経平均 10,000 円割れ」という報道があったりします。かつてバブルの頃日経平均株価は 20,000 円位ありました。現在の水準はその当時の比較で言えば約半分ということになります。

この位変動するものとも言えます。そうすると、日本経済に投資するというのは、ちょっと怖いかも知れませんね。

インデックスファンドを選択するという事は、その国（地域）の経済がどのようなようになるかを考えて投資することになります。

(地域にリンクしたインデックス＝指標ばかりではないのですが、分かりやすくお話しています。)

一般的に対象市場を限定すればするほどハイリスク・ハイリターンになります。

例えば新興国市場対応にすると、世界市場連動と比較して現時点での伸び率は高いです。

でも長期的に見て、「中国のバブルがはじけたらどうなるだろう？」という不安もよぎります。

ですからこうした特定地域の影響を強く受けるインデックスファンドを購入するリスクを避けるならば、世界市場連動のインデックスファンドを購入するのがよいということになります。

先ほど私が購入したETFの手続きをお話しましたが、この時に実際に購入したのが世界市場連動のインデックスファンドでした。

具体的にマネックス証券で実際に購入できるETF（インデックスファンド）を他にも少しご紹介します。

バンガード・MSCI・ヨーロッパETF (Vanguard MSCI Europe ETF) は、MSCI ヨーロッパインデックスに連動する投資成績を目標としている海外ETFです。

バンガード・MSCI・エマージング・マーケットETF (Vanguard MSCI Emerging Markets ETF) は、MSCI エマージングマーケットインデックスに連動する投資成績を目標としている海外ETFです。

それぞれのETFの詳しい株価の推移が気になれば、YAHOO FINANCEで調べられますので、調べてみてください。

第2章のまとめ

- ・素人は個別銘柄を買ってはいけない。
- ・プロの投資家が行っている運用に近い運用がインデックスファンドを購入する事で実現できる。
- ・インデックスファンドを購入するのは、ルーレットで言えば「赤と黒の両方に賭ける。」しかも「配当は1.04倍」という行為。(十分長期の時間で考えた場合)
- ・インデックスファンドを購入するのに、ETFを購入する方法がある。
- ・ETFは証券会社の口座を開設後、ホームページからインターネット決済で購入が可能。
- ・ETFの選び方は、世界全体を選ぶ方が安全。範囲を狭めて高配当を狙うかどうかは自己判断で。

第2章の付録

会社で「明日〇〇新聞がわが社の記事を発表するらしいが、そうすると株価が上がるだろうな・・・」と思うこともあります。

こういう状態であっても私自身は自分の会社の株を買うことはありません。

それは「インサイダー取引になるから」という理由がありますが、もっと別の現実的な理由があるからです。

と、お話ししました。

第2章でお話したことで別の現実的な理由がお分かり頂けましたか？

その最大の理由は、個別銘柄も日本経済全体に対しての市場の見方の影響を受けて株価が上下するからです。

例えば、円高が進むと、別の現実的な理由輸出企業を中心に株価が下がることが多いです。

では、ある企業が画期的な新商品を発表した日に円高が進んだ場合に株価はどうなるのでしょうか？

その答は、ありません。

もしかしたらこの企業が画期的な新商品を発表したことが評価されて株価が上昇するかも知れませんが、円高が進んで日本株全体が値下がりした影響で、この企業の株価も下がる可能性もあります。

このように個別の企業の業績や新商品の報道など「だけ」で株価は決まらず、日本経済全体に対しての市場の見方の影響を受けて株価が上下するので素人は個別銘柄を買ってはいけ

ないのだと、私は思っています。

3. 「どうしても家が欲しいのよ！」 家を持つ

つのは 1759 万円も損をする

ここでは家（マンション）を購入することがどの位金銭的にマイナスを生むかお話しします。

もしあなたが「住宅を買おうかな」と迷っているならば、思いとどまることをお勧めします。

購入と賃借の比較を詳しく整理したので読んでみてください。

この比較は、奥さんの説得にも使えると思いますので、どうぞ活用してください。

日経新聞の記事で購入と賃借の比較をしていました。

次の条件であつたら**購入（ローン返済）と賃借（賃料）の毎月の支払い額が全く同じ**になります。

Aさん：購入派

30 歳で価格 3000 万円のマンションを購入。（頭金 500 万円）

購入時諸費用 150 万円、ローン金利は年 3%を想定。

ローン返済額は年 134 万円

維持費（管理費、修繕積立費、固定資産税など）で年 45 万円

60 歳でローン完済。

Bさん：賃借派

30 歳からずっと賃借。

Aさんが頭金にした 500 万円を年 1%の金利で運用。

家賃支払額が毎年 134 万円

Aさんの支出した維持費（管理費、修繕積立費、固定資産税など）年 45 万は貯蓄する。

60 歳の時点では、手元資金が 2,470 万円たまる。

このAさんとBさんの 60 歳時点を比較してみましよう。

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

二人が支払った家賃もしくはローンの額は同じです。

家を買ったAさんが60歳の時に持っているもの

- ・ 築30年の家（死ぬまで、後20年住み続けなくてはならない）
（負担した金利は1,370万円（支払い済））

賃借のBさんが60歳の時に持っているもの

- ・ 現金2,470万円
（うち受け取り利子620万円）

購入したAさんは、現金の手持ちが無く60歳から年金を受給できた場合でも**死ぬまで今のマンションに住み続ける必要があります。**

賃借のBさんは不動産の所有はありませんが、現金が2,239万円ありますので、これから中古住宅でも購入できる可能性があります。

特にこの年では子供が独立しているので、夫婦二人分だけの住居を考えればよいので、購入するにしても負担は抑えられます。

もう一点、AさんとBさんの30年間の支出を比較してみてください。

Aさんは借金をしたために利子の支払いを1,370万円負担してきました。（支払い済み）

Bさんは受け取り利子が389万円ありました。

差額は1,759万円です。

よく不動産の広告が「家賃並みの支払額で購入できます」とうたっていますね。

はい、確かに家賃とローンの支払額は同じになるケースはあ

ります。

でも **30 年ローンだったら金利負担だけで 1,759 万円も差**が出てくるのです。

毎年海外旅行に行つて、高級車に乗つてもおつりが来る支出の差です。

本当に、家を購入する人は、このことを知つて買つているのでしょうか？

(ちなみに我が家ではこのことを家内に言いましたが、聞く耳持たずで、家を購入することになりました。)

なお、例外的に家の購入の負担が小さくなるケースがありますので、念のためお話しします。

かつての高度経済成長期のように毎年物価が上がる、賃金が上がる場合、家のローンの負担は収入に対して比率が小さくなります。(負担が軽くなります。)

今の日本経済でこうしたインフレ傾向は期待できませんが・・・

逆に言うと、今の子育て世代は親が高度経済成長期に家を購入した姿を見ているから自分も家を所有したがるかも知れません。

でも実際には自分の親が家を購入した時とは条件が違いすぎるのです。

どうしても家を購入するなら、せめてこういう家にする

ここまで私の失敗経験をお話してきました。

ただ、私自身が家を購入することにした際にいくつか覚悟した(決意した)ことがあります。

- (1) 借金の負担は最低限にし、最短で返済する。
- (2) 将来引退するための資産 4,000 万円構築は諦めないで取

り組む。(このレポートの方法)

(3) 経済環境が変わる、家庭の事情で引っ越すことが必要になった場合などには家売る。(絶対に売れる自信のある家を購入する。)

(3) の具体的な方法は機会があったらお話しますが、あなたが家の購入をするならば、これだけは気をつけてください。

私には、もしもの場合には家売れるという自信があります。

本当は家内とのコミュニケーションがうまくいき、家を購入せずに済めばそれに越したことはなかったのですが・・・

あなたが家を購入せずに済むことを祈っています。

どうしても購入するならば、いざという時に売れる自信がある、ということをお問自答した上で家を購入して下さい。

【付録】

エクセルで複利計算をする方法

(1) 年間 45 万円を、金利 1% で、30 年間積み立てたときの積立額 (将来の価値)

1%
30
-450,000
¥15,653,201

=FV(A1, A2, A3)

実際に支払った額は 13,500,000 円なので

受け取り利子は 15,653,201 - 13,500,000 = 2,153,201 円

(2) 年間 45 万円を、金利 4% で、30 年間積み立てたときの積立額 (将来の価値)

4%
30
-450,000
¥25,238,222

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

=FV(A1, A2, A3)

実際に支払った額は 13,500,000 円なので

受け取り利子は $25,238,222 - 13,500,000 = 11,738,222$ 円

(3) 5百万円を金利 1%で 30 年間運用した時の将来価値

1%
30 年間
-5,000,000
¥6,739,245

=FV(A1, A2, , A3)

利子は $6,739,245 - 5,000,000 = 1,739,245$ 円

(4) 5百万円を金利 4%で 30 年間運用した時の将来価値

4%
30 年間
-5,000,000
¥16,216,988

=FV(A1, A2, , A3)

利子は $16,216,988 - 5,000,000 = 11,216,988$ 円

4. 「全ての資産をインデックスファンドに変

える勇気がない」ありません

複利の恐怖

なぜ Mr. X はインデックスファンドを勧めるのか？の理由を理解するために、「複利」についてお話する必要があります。

この話は大変重要です。

ロバートアレンの「億万長者入門」という本があります。

(フォレスト出版 監訳 神田昌典)

この本の**最初のセクションは「複利」の話から始まっている**くらいです。(そしてインデックスファンドの購入を勧めています。)

複利とは、利子が利子を生んで雪だるま式に増えていく仕組みです。

「そりゃ当たり前だよな」

と思うかも知れませんが、私達はなかなか複利のことを「実感」できないのです。

あのアインシュタインも**「数学におけるもっとも偉大な発見は『複利』である。」**と言っているくらいです。

ですからしっかり実感できるようになることが必要ですので、改めてお話しします。

もし次のようなケースだと、どのように計算したらよいでしょうか。

「今日は1円、明日は2円、明後日は4円と言う風に、毎日もらえる額が2倍になったとします。20日後にはいくらもら

えますか？」

実際にはこんな話はありませんが、やってみましょう。

計算したいのは、2の20乗です。

1日後 2円

2日後 2×2 円 (2の2乗)

3日後 $2 \times 2 \times 2$ 円 (2の3乗)

.....

20日後 2×2

円 (2の20乗)

電卓では、

「2」を押します。

「×」を押します

もう1回「×」を押します。

「=」を押します。

これで2の2乗が表示されます。(=4)

もう1回「=」を押します。

この時点で2の3乗が表示されています。(=8)

もう1回「=」を押します。

この時点で2の4乗が表示されています。(=16)

これと同じく「=」を計19回押すと2の20乗が計算できます。

1,048,576円になります。

では次の計算もやってみましょう。

複利の不思議を実感するためです。

「年利4%で資産が増え続けたら、10年後、20年後、30年後にはそれぞれどうなっていますか？」

計算式は、 $1.04 \times 1.04 \times 1.04 \dots$ ですね。

電卓では

「1.04」を押します。
「×」を押します
もう1回「×」を押します。
「＝」を押します。
これで1.04の2乗が表示されます。

あと9回「＝」を押せば、1.04の10乗の計算になります。
(10年経過時点の資産の倍率)
約1.48倍です。

さらに10回「＝」押せば、1.04の20乗の計算になります。
(20年経過時点の資産の倍率)
約2.19倍です。

さらに10回「＝」押せば、1.04の30乗の計算になります。
(30年経過時点の資産の倍率)
約3.24倍です。

先ほど住宅ローンの負担を計算したときに、賃借の人は購入の人が使う頭金5百万円を運用に回せる、として計算しました。

この時は、金利1%で計算していたので、
5百万円は30年間で1.01の30乗、つまり1.34倍になり、
670万円に増えると計算していました。

面白いのは、**金利4%の30年経過時点の資産の倍率だと約3.24倍になる点**です。
5百万円の資金が、1,620万円にもなります。

インデックスファンドの価値の増加分を年率4%と計算する
なら、これは実際にありえる数値です。

では、金利が10%だとどうなると思いますか？

この辺が複利の不思議です。

というか、私の場合、脳がついて行かない（実感が持てない）領域なのですが・・・

**金利 10%の 30 年経過時点の資産の倍率だと
約 17.4 倍になる点です。
5 百万円の資金が、8,700 万円にもなります。**

不思議ですよ。

実際に電卓で 17.4 倍を計算してみてください。

電卓では

「1.1」を押します。

「×」を押します

もう 1 回「×」を押します。

「＝」を押します。

これで 1.1 の 2 乗が表示されます。

あと 9 回「＝」を押せば、1.1 の 10 乗の計算になります。

（10 年経過時点の資産の倍率）

約 2.59 倍です。

さらに 10 回「＝」押せば、1.1 の 20 乗の計算になります。

（20 年経過時点の資産の倍率）

約 6.7 倍です。

さらに 10 回「＝」押せば、1.1 の 30 乗の計算になります。

（30 年経過時点の資産の倍率）

約 17.4 倍です。

複利の恐怖(2)

実は、複利が恐ろしいのは積立を行った場合です。

この計算は電卓では難しいので、エクセルで行ってみます。

先ほど住宅ローンの負担を計算したときに、賃借の人は購入

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

の人が使う頭金5百万円を運用に回せる、として計算しました。(この時は、金利1%で計算していました。)

この他にも住宅購入者支出する維持費(管理費、修繕積立費、固定資産税など)年45万は貯蓄するとしていました。

この金利を年率1%で計算していましたが、もし4%だとどうなるでしょうか？

賃借のBさんは不動産の所有はありませんが、手持ち現金が3,197万円になります。(1%の時は2,239万円でした)

AさんとBさんの30年間の支出を比較してみてください。

Aさんは借金をしたために利子の支払いを1,370万負担してきました。

Bさんは受け取り利子1,132万円ありました。(1%の時は389万円)

購入した場合との差額は2,502万円(1%の時は1,759万円)です。

繰り返しますが、金利負担だけでこの差になります。

「全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がありません」

これは実際にインデックスファンドを購入して初めて実感できる悩みです。

ですから先ほどお話した方法で実際にETFを購入して見ることをお勧めします。

ここではあなたが購入した経験があるとして話を続けますね。

そしてこの悩みの解決策が、先ほどの複利の話と結びついてきます。

ETFを購入するステップは、

- (1) 米ドルを購入する
 - (2) ETFを購入する
- でした。

ですから米ドルの購入タイミングで、損したり得したりする可能性があるのです。

実際に私の購入データをみてみます。

私が米ドルを購入したのは2011年2/2でした。

ETF購入価格は49.06ドルです。

The screenshot shows the Monex Inc. account management interface. The main content area displays a table of transactions with the following data:

約定日	摘要	区分	銘柄名・ファンド名	数量	単価	受渡金額	受渡日
2011/01/20	お買付		為替取引(米ドル)	303.91	82.44	-25,000	2011/01/21
2011/01/28	お買付		バンガード・ワールド	6,490,000,000	-	-318,500,000	2011/02/02

Below the table, there are sections for '損益履歴' (Profit/Loss History) and '入出金履歴' (In/Out History). The '入出金履歴' section includes a note: '貸付金利、借付配当金、お取引口座への繰込などの履歴は、「入出金履歴」または「全取引履歴」をご覧ください。' (Please see the 'In/Out History' or 'All Transaction History' for interest on loans, dividends on borrowed funds, and transfers to your account.)

これが途中で上がり下がりがあって、現時点で49.85ドルです。



一方、円・ドルレートは現在約 80 円なので、今の時点の E T F 購入は円ベースでは若干損をしていることになります。(購入当時は 82.44 円のレートだった。)

つまり、**為替の影響を受けるため、E T F の投資は「今がいいのかな？」「もう少し円高になってからにしようか」と迷う気持ちが出てくるのです。**

現在持っている資金が 5 百万円あったとします。
これを米ドルに替えるタイミングを迷わないでしょうか？
80 円の時に米ドルを買えば 62,500 ドルです。
85 円の時に米ドルを買えば 58,823 ドルです。
6%目減りしてしまいます。

差額は 3,677 ドルにもなります。

何もしないで 30 万円以上失うことになります。

この「ドルに換金するタイミングは今でいいのかな？」

「もう少し待った方が円高になっていいのでは？」
という気持ちがあると、いつまでもETFを購入できなくな
ってしまいます。

もちろん、**円ドルレートだけではなく、ETF自体の値動き
も気になってくる**かも知れません。

ちなみに私が購入した世界市場連動のETF（VTという銘
柄です）ですら、日本の震災の影響を受けて3/11に値を下げ
ています。

世界市場連動と言っても、世界の経済は繋がっているので、
日本経済の動向）が世界市場連動のETFの価格に反映され
るのですね。

ただ、逆に言えば、私が購入した2月から今の水準が同レベ
ルと言うことは・・・

世界市場全体から見ると、日本の経済の落ち込みの影響限定
的にとらえられているので震災前の水準にまで回復した。
と解釈できます。

要するにここで**世界市場連動と言っても世界市場がどうな
るか（どうなると予想されるか）によって短期的には価格の
上がり下がりがある**、ということです。

そして、長期的に見ると、株式投資の本来の性質に従って株
式投資が価値を生み（企業が利益を上げて、投資家に還元す
るため）インデックスファンドの価格は上昇する＝価値が増
えることが予想されます。

ですから、**今の円ドルレートや、ETF価格水準がどうであ
るかにあまりとらわれずに、早めに投資を始めた方がよい**、
と考えられます。

ちなみに先ほどの85円→80円の円高の進行ですが、円高率

は、6.25%です。

インデックスファンドの価値の増加が1年間で4%だとすると1年半で元が取れる計算になります。

4%の金利の2年間では、価値は約8.1%増加します。

4%の金利の3年間では、価値は約12.4%増加しますから、仮に円高が10%進んだとしても利益が出ます。

ですから**今の円ドルレートや、ETF価格水準がどうかにかかわらず、早めに投資を始めた方がよい（可能性が高い）**のです。

「とは言ってもすべての資産をインデックスファンドに換えることは勇気が要ります。」

あなたはそう思うかも知れません。

そうですね。

Mr. Xも「その場合は、一部を債権、一部をインデックスファンドで持てばよい」と言っています。

さらに、**一気に資産をインデックスファンドに換えるのが怖いと思えば、少しずつ時間をずらして換えるという方法があります。**

この方法で行けば、円安になった場合のリスクを回避できます。

もう一点補足します。

あなたが、**まとまった資産はないが、毎月少しずつ積立を行って資産を増やして行きたいと思えば、毎月決まった額だけインデックスファンドを購入する方法**があります。

こうすれば、それぞれの時点で為替リスクを分散していると言えます。

試算してみましょう。

目標額は 4,000 万円。

毎月の積立資金は 5 万円とします。

金利が 4%の複利(毎年 4%ずつインデックスファンドの価値が上がる)としたら、何年で到達するでしょうか？

答えは 32.5 年になります。

ちなみに支払額は 5 万円 × 12 回 × 32.5 年 = 1,950 万円です。
(金利が 2,050 万円も付くのですね。)

エクセルで計算できますので、そのやり方はこちらです。

利率	4.0%
期間	32.5 年間
目標額(将来価値)	40,000,000
1 年間に何回積立てるか	12
毎回の積立額(定期支払額)	¥-50,099

=PMT (B1/B4, B2*B4, , B3)

だから **あなたがもし今新入社員であったら毎月 5 万円をインデックスファンドの積立に回したとすると、あなたは定年までに 4,000 万円の資産を築くことができます。**

5. 残された唯一の方法

「全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がありません」とあなたは思われたかも知れませんが、複利のことインデックスファンドが価値を生むしくみを考えると、実はMr. Xの方法は理にかなっている、ということが理解頂けたことと思います。

また、**全ての資産を換えるのではなく、積み立てを行うのも有効です。**(あなたがもし今新入社員であったら毎月5万円をインデックスファンドの積立に回したとすると、あなたは定年までに4,000万円の資産を築くことができます。)

ただ、あなたは過去の選択の結果、これまでにお話した方法が実践できないかも知れません。

「消費を切り詰められません。」

我が家では住居を購入することになりました。

既に住宅を購入しています。この家売ってインデックスファンドに換えることは無理です。

「借金だけはするな」と言われても・・・

住宅をキャッシュで購入するのは無理なので、借金してしまいました。

「家族の理解が得られません。」

全ての資産をインデックスファンドに変える勇気がないし、家族の理解が得られません。

「新入社員ではないので定年まで32年間もありません」

今新入社員が毎月5万円をインデックスファンドの積立に回したとすると、定年までに4,000万円の資産を築くことができるといっても、実際には新入社員ではありません。そんなに時間はないのです。

では、あなたの問題点を整理してみましょう。

・インデックスファンドに換えるまとまった資産がない。(または家などを持っていたとしても家族の理解が得られなくて換えることができない。)

・毎月少しずつ積み立てを行う方法は有効かも知れないが、32年間も時間がない。

(そして、最初にお話した通り、収入を増やさない前提です。)

はい。では残された唯一の方法をお話します。

それには、世の中のプロの投資家のことを1点だけ理解して頂く必要があります。

「もう一つのプロの投資方法」

インデックス投資は「赤と黒両方に賭け、賭け金以上のリターンを期待する」投資であると言えます。

それは株式投資が価値を生む(それは「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」というもとの性質があるから)です。

ということをお話しました。

ではこんなにうまい方法があるならば、**世界中のプロの投資家はインデックス投資をしているのでしょうか？**

実は、その答はYESであり、NOでもあります。

世界中のプロの投資家の全てがインデックス投資している訳ではありません。

ただ、実際にインデックス投資をしている投資家が何割かいます。

では全ての投資家がインデックス投資をしないのはなぜか？

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

それは、**インデックス投資をベースとしつつ、より高いリターンを得られる投資があると考えているからです。**

教科書的には次のような説明になります。

投資顧問の一般的な株式運用方法（ α リスク）

- ・ベンチマークをベースにしながらも（ β リスクをとりつつ）、投資者の判断で、保有する銘柄を選択し保有ウェイトに差をつけ、ベンチマークを上回る超過収益（ α ）を狙う投資手法がある。これをアクティブ投資という。
- ・全投資家を合算すれば α はゼロになるため、 α の部分は投資家同士のゼロサムゲームとなる。
- ・一般に投資顧問にとって、どの企業にどの程度投資するかは、ベンチマークへの組入れ比率によってベース量がまず決定され、その上でその企業の魅力度合いに応じて保有率0%~5%程度の追加組入れ（オーバーウエイト）を決定する。

インデックス投資をベースとしつつ、より高いリターンを得られる投資というのが、アクティブ投資です。

ここでのポイントは3つあります。

1つは、アクティブ投資が全投資家を合算すれば α はゼロになるため、 α の部分は**投資家同士のゼロサムゲーム**になるという点。

ゼロサムゲームというのは、要するに**誰かが勝って誰かが負けている**ということ。

2つめのポイントは、**実際にアクティブ投資をするプロの投資家がいる一方、インデックス投資をするプロの投資家がいるという事実**です。

つまり、アクティブ投資が投資家同士のゼロサムゲームであ

るため、行わないプロの投資家もいるという事です。

3つめのポイントは、

「ベンチマークへの組入れ比率によってベース量がまず決定され」というところです。

少し専門的な言葉なので難しいですが、簡単に言うと、**アクティブ投資と言っても、インデックス投資をベースにする**ということです。

ちょっと専門的に見ると乱暴な例になりますがルーレットを例にお話します。

インデックス投資は「赤と黒両方に賭け、賭け金以上のリターンを期待する」投資であると言いました。

赤と黒両方に賭けた場合のリターンが4%だったとします。これを賭け方Aとします。

では次の賭け方Bはどうでしょうか？

「赤1と黒1を以外の目が出た場合にリターンは10%」

赤と黒両方に賭けることができますが、赤1もしくは黒1の目が出た場合にだけ負けです。配当はありません。でもそれ以外の場合の場合にはリターンは10%です。これは賭け方Aに比べて高い配当になります。

賭け方Bは、決して100%安全ではないですが、リターンが高く、赤1もしくは黒1の目が出るという確率は低いので悪くない選択かも知れません。

大雑把に言うと、インデックス投資をベースにしたアクティブ投資とは、このようなものになります。

ただしここで、インデックス投資をベースにしつつ、というのがポイントです。

インデックス投資をベースにしていれば、株式投資が価値を生む（それは「企業が利益を上げて、投資家に還元するから」というもともとの性質があり、価値の増加を期待できます。

アクティブ投資の最も極端な例は、個別銘柄の1点買いです。（個人の投資家はこれを実際にやっていると思います。）

プロの投資家はこうしたことは行いません。

一つプロの投資家に投資の例をお話します。

ある会社Xが東京証券取引所に株式を公開していて、株式の時価総額が1兆円だったとします。

この会社Xの東証一部の時価総額に対する比率は0.5%程度になります。

ある投資家Yが日本株に5,000億円投資し、TOPIXというインデックスに連動するように日本株を購入しようとしているとしましょう。

この投資家Yは、会社Xの株をいくら購入するのでしょうか？

答えは、 $5,000 \text{ 億} \times 0.5\% = 25 \text{ 億円}$ です。

ここでもう一つの投資家Zがいます。

Zは投資家Yと同じように日本株に5,000億円投資しますが、こちらはアクティブ運用します。

Zは、会社Xの業績と現在の株価をみます。

ここで、「現在は割安だからもっと購入しよう」と考えたら、0.5%より比重を高めて投資します。

逆に「会社Xは割高だから、他の会社の比重を高くしよう」と思うと、0.5%より比重を低めて投資します。

では、**実際にはどの程度比重の上げ下げを行うのでしょうか？**

この辺は、投資家の判断によるところですが、低くした場合に0.5%をゼロに。

逆に**高くした場合に、0.5%を数%にする場合もあります。**

この「高くした場合に、0.5%を数%にする」というのが、ポイントです。

(私の知っている限りでは、0.5%を数%にするというのは、本当に思い切った投資判断です。アクティブ運用の投資家とは言っても極端にウェイトの変更を行わないのです。)

でも、個人投資家は、1つの銘柄に100%投資したりします。

プロの投資家で、日本株の運用額が数千億円の会社が高くても数%までしかウェイトの変更を行っていないのです。

くれぐれも個人が個別銘柄に手を出さないように気をつけてください。

そして**アクティブ運用は個人が個別銘柄を購入するよりは、インデックス投資に近い**ということもご理解下さい。

ちなみにアクティブ投資は安全かどうか？については議論があると思います。

Mr. Xが勧めていないところを見ると、リスクあると評価しているのでしょうかね。

ただ、大手企業の年金などは実際にプロの投資家に運用を委託されてアクティブ投資されています。

さて、ここで話を戻します。

- ・インデックスファンドに換えるまとまった資産がない。(または家などを持っていたとしても家族の理解が得られなく

て換えることができない。)

- ・毎月少しずつ積み立てを行う方法は有効かも知れないが、32年間も時間がない。

ではどのような方法があるか？

インデックスファンドを購入するよりも、リスクはあるがリターンの大きい「もう一つのプロの投資」を行う方法があります。

これがアクティブ投資ですが、**個人で個別銘柄を購入するような方法だと、インデックスファンドを購入する以上の成果を上げられるものではありません。**

なぜかと言うと、アクティブ投資の世界で、インデックスファン以上の成果は投資家どうしで競い、誰かが勝って、誰かが負けているからです。

要するに**個人投資家がプロの投資家と勝負しているのだから長期的に勝ち続けるのは難しい**のですね。

そこで具体的なアクティブ投資の方法をお話します。

- ・優秀なプロの投資家に投資を委託する。(プロに任せる)
- ・毎月少しずつの積み立てで投資する。

これが残された唯一の方法だと思います。

一つの例ですが、**毎月3万円を積立でプロの投資家に委託し、年率10%で運用されたとすると、あなたは25年間で4,000万円の資産を築くことができます。**

(総支払額は約9百万円です。)

6. 最後の方法：アクティブ運用の投資信託

実はこの方法は、ある資産家（年収1億円位の方）自身が自分の資産運用を任せている資産運用の専門家から教えてもらった運用方法です。

この投資方法について具体的にご紹介します。

最初にこの投資方法を一言で説明しますと

「オフショア生命保険会社が発売している積み立て型の投資商品（ユニットリンクといいます）を購入する」になります。

と、いきなり言っても難しいですよ。

なお、この生命保険会社との契約を私自身しようとしているのですが、震災の影響があって取次店にまだ申し込めていない状況です。

（この点については後で改めてお話しします。）

ですから私自身が早く申し込みたいが、まだ手続きはできていない、という点をご理解頂ければと思います。

色々と疑問があると思いますので、一つずつご説明します。

・「毎月いくら積み立よいのですか？」

例えば今30歳の方が、毎月3万円相当ずつ（実際は外貨積み立てですが、30,147円で計算。）5年間積み立てると、払い込み合計180万ですが、運用資産額は226万に増えます（つまりこの額が帰ってきます）。

また、10年後40歳までの払い込み合計では、積立額360万に対し、581万円に増えます。そして25年後の55歳までですと、払い込み合計900万が4,000万円になります。

・「金利10%での運用というのが実際に可能ですか？」

運用の成果についての保証はありません。ただし過去の運用

利回りの実績は資料で確認できますので、ご覧下さい。

・「**オフショアって何ですか？**」

オフショア (Off Shore) とは、「海の向こう側にある」という意味。

もともとイギリスで使われていた言葉で、英国量の島々であるマン島やガンジー島などのことをいいます。

イギリス王族、世界的大富豪、政治・経済のリーダーの資産が管理、運用されています。

・「**元本は保証されますか？**」

契約上元本は保証されません。つまり、運用の実績によっては元本割れの可能性はあります。ただし、**会社の倒産に対しては、資産の9割まで政府が保証しています。**マン島保険年金保護法により、万が一その保険会社が倒産しても時価総額の90%までが保障されることとなっています。

<http://www.gov.im/ipa/insurance/regulations/InsurancePolicyholderProtection.xml>

・「**運用を始めた直後にリーマンショックのようなことが起きたら資産を減らしてしまうことになるでしょうか？**」

⇒そのリスクはありますが、毎月の積み立てで投資するので、リスクを分散させていることになっています。

もしリーマンショックのようなことでも起きれば、例えインデックスファンドを保有していたとしても一時的には、資産価値は減ってしまいます。(3月の震災でインデックスファンドの価格が下落したというお話はしましたね。)

ただし、**時期を分散して継続して投資するので、リスクの分散になっています。**

次のような投資をした場合の例でお話します。

毎月1,200円を6ヶ月間投資したとします。

ETFを6ヶ月に分けて購入し続けるのと、1回で購入した場合の比較をしてみましょう。

【分散投資の場合】

1ヶ月目には単価が100円であったとします。この時には12口購入できました。

2ヶ月目には単価が60円であったとします。この時には20口購入できました。

3ヶ月目には単価が40円であったとします。この時には30口購入できました。

4ヶ月目には単価が30円であったとします。この時には40口購入できました。

5ヶ月目には単価が20円であったとします。この時には60口購入できました。

6ヶ月目には単価が50円であったとします。この時には24口購入できました。

6ヶ月間で購入した口数は、合計で186口です。

現在の単価は50円ですので、資産評価額は $50円 \times 186 = 9,300$ 円です。

投資した金額の合計は $1,200 \times 6 = 7,200$ 円ですので、2,100円資産を増やしたことになります。

【一括投資の場合】

最初の月に一括で7,200円投資したとしましょう。

1ヶ月目には単価が100円であったので、この時には72口購入できました。

現在の単価は50円ですので、資産評価額は $50円 \times 72 = 3,600$ 円です。

投資した金額は7,200円ですので、3,600円資産を減らしたことになります。

このように毎月の積み立てで投資するので、リスクを分散させていることになっています。

・「どうして生命保険会社との契約になるのですか？」

この積立型投資商品はユニット・リンクといいます。「ユニット」とは、投資ファンドの口数のことを指し、この投資ファンドの口数と連動(リンク)している保険商品であるためユニット・リンクと呼ばれたり、または投資リンクと呼ばれるよ

うになりました。

投資商品なのになぜ保険会社から発売されているかというと、ほぼすべてのユニット・リンク商品には1%の生命保険が付加されているからです。

あえて1%の生命保険を付加しなければならなくなったそもその理由は、二つあります。ひとつはイギリスの税制。このユニット・リンク型保険を使って投資をしたとしても、解約または投資金を一部引き出すまでは課税されない。

ユニット・リンク商品の中身は投資そのものであるが、投資で得た利益はキャピタルゲインとしてみなされず、死亡時の保険金とみなされる。

もうひとつの理由は、商品組成地であるオフショアの法律。たとえば、マン島に本社を構える保険会社が生成した保険商品については、マン島保険年金保護法により、万が一その保険会社が倒産しても時価総額の90%までが保障されることとなっているからです。

参考 : マン島保険証券保持者保障法

<http://www.gov.im/ipa/insurance/regulations/InsurancePolicyholderProtection.xml>

保険商品でなければこの法律の適用は受けられないので、あえて1%というわずかな保険をつけることでこの要件をクリアしているという訳です。

・「この会社は安全ですか？」

この会社は「フレンズ・プロビデント」といいます。Friends Provident Groupの一員です。同グループは1832年に設立、ロンドン証券取引所に上場されており、Standard & Poor'sの格付けはA+です。運用ファンドは25兆円で、顧客数は全世界で300万人です。

・「どうやって申し込みますか？」

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

マン島（イギリスとアイルランドの間に位置する英国王室属国。大きさは淡路島くらい）にあるフレンズ・プロビデントとの契約になります。

申し込みは、日本の取次店経由、香港の代理店に行います。現在、震災の影響があって、現在日本の取次店の体制が整備中らしく、私自身申し込みができていません。

香港に行けば申し込みはできるようですが、契約条件自体は日本で申し込んでも同じですので、渡航費がかかり言葉の問題があるので香港での契約はハードルが高いです。

また、私の調べた範囲では香港で日本人が常駐して申し込みができる会社がありましたが、この会社は毎月の積立額が1000ドル以上からの規定になっていました。これだとある程度資金に余裕のある方しか申し込めないなので、私自身、日本で申し込みができるのを待っています。

・「毎月の積み立てはどうやって支払いますか？」

⇒クレジットカード（VISA か MASTER）で自動引き落としとするか、香港の銀行（HSBC）からの引き落としになります。クレジットカードからの引き落としの方が一般的だと思います。（わざわざ香港に口座作らなくていいため）クレジットカード決済の場合、1%の手数料が発生します。

・「毎月いくらかから積立ができますか？」

⇒最低 250 ドルからです。

・「手数料を教えてください。」

⇒少しややこしいですが、最初の 18 ヶ月間の積立金は「初期口座」に、19 ヶ月目以降の積立金は「積立口座」に入ります。手数料は初期口座の時価総額に対する 1.5%（3 ヶ月毎）です。ただし、ファンドの選択をアドバイザーに一任した場合、2 年目から投資全体の時価総額に対して年間 1%の手数料がかかります。

・「途中解約したらどうなりますか？」

⇒「初期口座」に対する時価総額の一定%が解約手数料になります。25 年満期で契約したとします。10 年経過し、満期まで

残り 15 年の時点で解約したとします。この時点だと解約手数料は「初期口座」の 60%になります。

毎月の積立額が 3 万円だとすると、初期口座は 3 万円×18 ヶ月=54 万円ですので、32.4 万円になります。

年利 10%で運用されていたとしたら、10 年間の払い込み合計は、360 万ですが、資産は 581 万円に増えている計算です。この中から 32.4 万円を解約手数料として払うことになります。

これまでに話したようにこのレポートでは資産 4,000 万円を築くのを目標にお話してきました。

残された最後の方法とは・・・

- ・ 優秀なプロの投資家に投資を委託する。(プロに任せる)
- ・ 毎月少しずつの積み立てで投資する。

具体的には、「オフショア生命保険会社が発売している積み立て型の投資商品を購入する」です。

おそらくこの方法でのみ、毎月 3 万円を積立でプロの投資家に委託し年率 10%で運用し、あなたは 25 年間で 4,000 万円の資産を築くことができます。(可能性が高いです。)

7. このレポートの完成形を届けさせてください。

このレポートは未完成です。

是非完成版をあなたに届けさせて頂きたいと思っています。

未完成である点は2つです。

1点目。「オフショア生命保険会社が発売している積み立て型の投資商品（ユニットリンクといいます）を購入する」という方法をご紹介しましたが、この契約を私自身しようとしているものの、震災の影響があって取次店にまだ申し込めていない状況です。

取次店の連絡先をあなたに届けさせて下さい。

そして、申し込みか申し込まないかはともかく、資料だけでも取り寄せて是非読んで頂きたいのです。

2点目。私はせっかくこうしてあなたにレポートを読んで頂いたので、もし分かりにくい部分があったら加筆・修正して完成版を届けたいと思っています。

そこでもし分かりにくい部分、質問などがあったら是非教えて下さい。

アンケートフォームを用意しましたので、質問のほか、役に立った、参考になったといった感想も教えて頂けると嬉しいです。

アンケートにご協力頂いた方へは、後日完成版のレポートをお届けします。

なお、このレポートは、有料での販売を考えていませんので、

再度のご案内をする予定はありません。

このアンケートフォームにご記入頂くことが、唯一の入手方法になります。

ここまで読んで頂いて、少しでも興味を持っていただけたならば是非完成版を手に入れて下さい。

アンケートはこちらです。

<http://form.mag2.com/phiowaefra>

直通のメールでもご連絡頂けます。ご質問があればご遠慮なく送って下さい。

allowance.advisor@gmail.com

これ以上時間を無駄にしないで頂きたい

「このレポートは今すぐ読んで頂きたいのです。」と申し上げました。

なぜ緊急で、今すぐ読んで頂きたいのか？

ここまで読んで頂いて、理由はお分かり頂けましたか？

計算して頂ければ分かると思いますが、サラリーマンが毎月3万円の小遣いを貯金したとして、1年間で36万円です。

10年で360万円。

20年貯めたとしても720万円。

小遣いを貯めるという行為は、少しも引退と結びつかないように見えます。

でも、「時間」を味方に付けて、複利で運用することで実際に引退が見えてきます。

今30歳の方が、毎月3万円相当ずつ（実際は外貨積み立てで

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

すが、30,147円で計算。)5年間積み立てると、払い込み合計180万ですが、運用資産額は226万に増えます。

また、10年後40歳までの払い込み合計では、積立額360万に対し、581万円に増えます。そして25年後の55歳までですと、払い込み合計900万が4,000万円になります。

このことは、言い方をかえれば次のようになります。

もしあなたが55歳まで働くことができ、それまでの間に毎月3万円の積み立てを行うことができるとします。

今30歳で、積立をスタートすると25年間で4,000万円の資産を築くことができます。

5年後にスタートしたとすれば、積立ができるのは20年間だけになります。

そうするとあなたが築ける資産は**2,289万円**です。

わずか5年の差ですが、構築できる資産は6割弱に減ってしまいます。

10年後にスタートしたとすれば、積立ができるのは15年間だけになります。

そうするとあなたが築ける資産は**1,250万円**です。

15年後にスタートしたとすれば、積立ができるのは10年間だけになります。

そうするとあなたが築ける資産は**581万円**です。

20年後にスタートしたとすれば、積立ができるのは5年間だけになります。

そうするとあなたが築ける資産は**226万円**です。

「時間」が全てですので、あなたが今、何歳であっても今すぐこのレポートを読み進めて下さいと申し上げたことが実感頂けましたか？

私自身、「あと10年、いや5年早くこの話を知っていたら…」
としました。

でも過ぎ去った時間は帰ってきません。

ただ、これ以上時間を失いたくない、今はそう思っています。

あなたもこのレポートの方法で資産を築くことに興味がある
のであれば、少しでも早く始めることをお勧めします。

終わりに

・あなたは「もっと偉大になれる」はず

引退で最も価値ある事についてお話しします。

「どうしても引退したいんです。」

あなたはそう思っていますよね。

理不尽な上司にペコペコするのはいやだ。

満員電車でゆられて1時間もかけて通勤しなくちゃならないのは苦痛だ。

自由になりたい。

海辺のリゾートで暮らしたい。

あ、夏の間だけは涼しい山岳リゾートもいいな。

好きな場所で好きなことをして暮らしたい。

あなたがサラリーマンであったら、こうした気持ちがあると思います。

「日ごろの生活への不満」

「非日常への漠然とした憧れ」

両方の気持ちが混じっているのではないのでしょうか。

そして、**義務のために生きているのはいやだ！**

という気持ちがあるかも知れませんね。

私はあなたが心に「義務のために生きているのはいやだ！」

と思うのなら、その気持ちは大切にしたいと思います。

そうは言ってもいきなり今すぐに「よし、いやな会社はやめるぞ。」と決断できないかも知れませんし、「そうは言っても家庭もあるからがまんしなくちゃな・・・」と思うかも知れません。

それはそれで、一つの決断だと思うのです。

ただ、「**義務のために生きているのはいやだ!**」という気持ちは、**本当はもっと偉大な仕事ができる、とあなたが心の中で信じているから、かも知れないのです。**

だから、「でもどうしても引退したい。」「義務のために生きているのはいやだ!」という気持ちがあるのなら、その気持ちを大切に持ち続けて欲しいと思っています。

私達は「稼がなくてはいけない」「稼ぐために働かなくてはいけない」と思っています。

そして、働くために「この町に住まなくてはならない」と思って人生が決められてしまっています。

職業と生活する場所の縛り（義務）から開放された引退生活では、インデックスファンドからの月収13万円でかなり十分な生活が可能になってきます。

あなたがこうした引退生活を夢見るのは、**義務から開放された引退生活に入って、それからあなたが本当にやりたい仕事をしたいと思っているからではありませんか？**

冷静に考えると、衣食住という毎日の生活が保証されて働かなくてもよい状態というのは、緊張感のない退屈な生活かも知れません。

こうした状態が続くと、「働きたい」とあなたは思うはずです。

そしてもはやあなたは生活のために働く必要はないので、いやな仕事をがまんしてやる必要はありません。

ですから最もあなたの好きな仕事、もっとも興味のある仕事、最も価値があると信じられる仕事を選んで、世の中に提供するために働けるのです。

あなたは「引退したい」
海辺のリゾートで暮らしたい。
好きな場所で好きなことをして暮らしたい。

こうした気持ちがあると思います。

「日ごろの生活への不満」
「非日常への漠然とした憧れ」
両方の気持ちが混じっているのではないのでしょうか。

でもその気持ちの奥には、義務から開放された引退生活に入って、それからあなたが本当にやりたい仕事をしたいと思っているから、かも知れません。

つまり、あなたは「もっと偉大になれる」と信じているからこそ引退を望んでいるのです。

だから私はあなたが心に「義務のために生きているのはいやだ！」と思うのならば、その気持ちは大切にしたいと思っています。

そして、今すぐに引退することは難しいかも知れませんが、引退を目指して資産の構築に励んで頂きたいと願っています。

・子供に最低限教えたお金知識

ちょっと話が変わりますが、子供の受験の話をしてします。

中学入試の問題を見られたことがありますか？
すごく難しいですね。

本当に小学生があの問題を解けるのか？

そう思ったことがあったかも知れません。

実は私は子供が現在小学校3年生です。

仕事の都合で東京に5年前に転居してきてから、否応無しに東京の受験事情に直面させられて来ました。

私の住んでいる地域は進学する子供が多いのです。

娘は地元の公立の小学校に入学しましたが、近くの公立中学校は、1学年1クラスしかありません。

私立に進学する人が多いからだそうです。

これだけ私立に進学する人が多いと、逆に公立中学校に進学するのは「女の子なのに大丈夫？」と言われるようになっていきます。

いえ、周りをみて中学は私立に進学する人が多いからではなく、既に現在の小学校でも女の子が男の子より少ないのです。

それは、もちろん小学校から私立に行っている女の子が多いからです。

進学熱が盛んなのは、幼稚園時代からありました。

娘は絵を描くのが好きなので、お絵描き教室に通うことにしました。

教室を探していた時に先生から言われた言葉は、「うちは受験のための指導をしていませんが、いいですか？」でした。

「は??」という感じでしたが、小学校受験のために、お絵かき教室に通う幼稚園児がいるんですね。

とにかく地方出身の私にとって「東京の受験事情って何？」というカルチャーショックの連続でした。

子供の通うのは公立の小学校ですが、算数の授業が進度別に進められていて、クラスの中が3つのグループに分けられているそうです。(小学校3年生で、ですよ)

ちなみに、周りの受験熱が高いので、一応中学受験の入試問題も調べてことがあります。衝撃を受けました。

「これって本当に中学受験の問題？」

・・・ということは小学校6年生が解くんですよね？

高校受験の間違いじゃない？

しかも合格レベルは得点率が大体7割だそうです。

正直信じられませんでした。

とにかく周囲を見渡して、最近の子供は小さい頃から受験という大変なテーマを突きつけられているように思います。

中学校受験をしなかったにしても子供は高校受験、大学受験などいつまでも勉強、勉強に追われる競争の社会が待っています。

あなたが現在の自分自身の仕事に不満や不安を抱えていたら、きっとお子さんの教育・受験について考えたこともあると思います。

ここで私自身が、子供の教育のことで考えたことがあります。

私の子供は特別に頭がいい訳ではありませんし、勉強が好きでもありません。

中学校、高校、大学と勉強して、公務員とか銀行員や大手企業に就職する人生が向いているだろうか？

世の中の親の多くは勉強することが、子供の将来を安定したものにす唯一の方法だと信じているが・・・？

いや、我が娘にはどう考えても向いていない。また、本人に聞いてみても関心は別のところにある。(ちなみに興味があるのは、美容師、マッサージ屋さん、イラストレーターなどのようです。)

ならば私は親として、「子供が好きな道を歩むのを応援してあげよう」と思っています。

そのために、子供に教えてあげたいこととして次の3点を整理しました。

1. セールス
2. コピーライティング
3. 最低限のお金の知識

セールス、コピーライティングの知識・能力があれば、好きなことを仕事にして生活していくことができる。

そしてこのレポートに書いた最低限のお金の知識があれば、自分の引退資金を貯めることができます。

中学校、高校、大学と勉強して、公務員とか銀行員や大手企業に就職する人生が娘にいいのだろうか？

いや、娘にはこういう向いていない人生、義務を果たすために我慢して生きる人生より、自分の好きな道をのびのびと歩いてもらいたい。

そのためにセールス、コピーライティング、最低限のお金の知識の3つを教えてあげたい、と思っています。

セールス、コピーライティングはこのレポートで扱っていませんが、最低限のお金の知識とは、一言で言えば次の内容です。

新入社員が毎月5万円をインデックスファンドの積立に回したとすると、定年までに4,000万円の資産を築くことができます。(もしくは毎月3万円を積立で7口の投資家に委託し、

サラリーマンが小遣いを貯めて
引退生活に入れる唯一の方法

年率 10%で運用されたとすると、25 年間で 4,000 万円の資産を築くことができます。)

これだけの資産を築けば、インデックスファンドで約 4%の運用をした場合に、年収は 160 万円になります。(月収は 13 万円です。)

最低限の生活はでき、引退生活に入れます。

あなたが引退について考える時、
「日ごろの生活への不満」
「非日常への漠然とした憧れ」
両方の気持ちが混じっているのではないのでしょうか。

でもその気持ちの奥には、義務から開放された引退生活に入って、それからあなたが本当にやりたい仕事をしたいと思っているから、かも知れません。

つまり、あなたは「もっと偉大になれる」と信じているからこそ引退を望んでいるのです。

・・・と申しあげました。

同じようにあなたは子供さんの将来についても考えることがあると思います。

あなた自身が義務から開放された引退生活に入り、それから本当にやりたい仕事をしたいと思っているならば、同じように子供さんにも義務を果たすために我慢して生きる人生より、自分の好きな道をのびのびと歩いてもらいたいと願うのではないのでしょうか。

もしそのように考えるならば、このレポートに書いた最低限のお金の知識を子供さんに教えてあげて下さい。